



昭和2年7月7日創立

世田谷区立東大原小学校

同窓会報

平成21年度(2009.7)

発行所
世田谷区大原1-4-6
東大原小学校同窓会

発行人
宮川英子

東大原小学校同窓会は四月十九日の総会で評議員
を選出し、その互選により会長として宮川英子氏(13
回生)が選ばれました。

明るく若々しい同窓会へ

会長 宮川英子 (十三回生)

小学生として六年、そして二十歳になったばかりで母
校の教師として十三年間勤めさせていただいた私は、誰
にも負けない母校愛を持っています。



しかし、歴代の先輩会長と比べれば、その人格識見に
おいて、足元にも及
びせん。でもお引
き受けいたしまし
た以上は心を込め
てお尽くしいたし
ます。

幸いにも同窓会
役員の中には多く
の教え子がいます。更にこの土地に生まれ育って今日ま
で暮らしてきたので、地域の方々からも多くのご声援
をいただいで、有難く感謝いたしております。

私がかねがね同窓会役員の若返りを願っていました。
現役員の若手(と言っても六十歳から七十歳代ですが)
には、母校を愛する有能な方がたくさんいます。更に
最近四十歳から五十歳代の方々も協力してくださるよ
うになって、嬉しい限りです。同窓会の未来は、明るく
若々しい活動団体になると信じています。

同窓会の目的第一は、会員相互の親睦です。旅行、ス

ポーツ、趣味、親睦会など、楽しいことを企画して仲良
くしたいと思えます。どうぞ、皆さん、一緒に楽しもう
ではありませんか。

目的第二は、母校の発展を図ることです。厳しい社会
情勢の中で頑張っている母校のために、何をしたらお役
に立てるのか、学校側のご意向を充分にくみ上げて協
力していきたいと願っています。

更に、若い同窓生(中、高、二十歳未満)の活動を期待
いたします。

「何をしてくれるのか」でなく「こんなことをしよう
よ」と声を挙げて欲しいと、切に願っています。

岩下秀男前会長を讃えて

加藤会長時代から永いこと同窓会を支えて来ていた
だいていた岩下氏は十九年度から二年間会長としてご
尽力いただきました。

特に母校創立八十
周年記念事業に当
たつては、その深いご
造詣により「故きを
訪ねて」を執筆編纂
され、母校のルーツを
広く紹介してくださ
いました。

任期満了にあたり、
慰留される方々もい
る中で、後進に道を
譲りご勇退なされま
した。





元同窓会会長加藤清光様(88歳)には去る5月1日急性心筋梗塞のためご逝去されました。

4月19日の同窓会総会にはお元氣な笑顔で参加されていましたから、驚愕いたしました。

故加藤清光様は、昭和35年(一九六〇年)、戦争から戦後の混乱期で途絶えていた同窓会を、岸田義明、畠山保克、土田正人諸氏と共に再興してくださいました。以後40有余年を、岸田、山中幸雄氏らと共に何期も会長を勤められ、本会の育成にご尽力、ご功績を讃えますと共に、心からご冥福をお祈りいたします。

5月10日世田谷教会で執り行われました告別式には同窓生多数が参列して献花いたしました。我が同窓会の発展に尽くされたご功績に深く感謝申し上げます。

21年定例総会の報告

平成21年度の総会は平成21年4月19日(日曜日)午後3時より母校の体育館において開催され、関根純一さん(35回生)の司会により、議事が進められました。

第一部では岩下会長(12回生)の挨拶、飯島副校長の挨拶に次いで、新入会員の代表として喜田村廉人さん(82回生)と芳澤恵さん(82回生)の元氣な挨拶があり、引き続き議事に入りました。議事の

詳細については3ページをご覧ください。

今回の総会では新たな役員を選出が行われ、そこで選出された宮川英子(13回生)新会長の力強い挨拶がありました。引き続き前会長岩下秀男さんの退任の挨拶、新海美紀PTA会長による来賓挨拶があり無事総会議事を終了しました。

第二部では27回生の株式会社市場経済研究所主幹岡本匡房さんに「経済つてなに？」というテーマで経済の仕組み、最近の不況がどうして起きたのかをとっても分かりやすい言葉で講演して頂きました。易しく分かりやすく話すとはどういうことかということの見本のようなお話で皆引き込まれて聴きました。

終了後、懐かしい母校校歌の斉唱、記念撮影と移り、第三部はお酒も入り、参加同窓生62名による懐かしくも楽しい同窓会になりました。

今年は宮川新会長の教え子達と岡本講師の同期生が沢山参加され、来年の総会での再会を約して閉会しました。

総会風景



選出された会長・副会長



新入同窓生代表の挨拶



来賓の方々



新海PTA会長挨拶



集合写真アップ



26期生の方々



集合写真



34期生の方々



懇親会風景



新入同窓生達 副校長先生、PTA会長さんと共に(男子は撮影時不在)



お元気だった加藤前々会長

平成21年 定例総会議事内容

議案第1号 平成20年度事業報告

同窓会の目的にある母校の発展に寄与するため何か出来ることをしようと模索した。20年度はまだ具体的成果はでていない。また同窓生のコミュニケーションの活発化を狙って、会報とホームページの充実に努めた。結果、活発な運営が出来た。会報への寄稿やホームページの掲示板への書き込みは充実してきた。同窓会の強化を図る為、計画した同窓生名簿の充実と電子データ化はかなり進んだ。現在名簿掲載人数は3114名で卒業生の26%である。19年度から今日まで会費や寄付をいただいた方は302名、そのうち20年度会費を納めた会員は144名だった。また20年度は会員相互の親睦をはかるための事業を行うために事業部会を作った。トライヤルとして3月1日2日と熱海への親睦旅行を15名の参加を得て実施した。

以上の報告に異議はありませんでした。

議案第2号 平成20年度決算報告

収入の部			支出の部		
	予算額	決算額		予算額	決算額
会費収入	500,000	294,000	総会費	35,000	34,383
新会員入会金	10,000		写真・文具等活動費	100,000	
			文具等消耗品費		82,846
			活動費		18,998
懇親会費	30,000	24,000	通信費	200,000	313,030
名簿売上	5,000	2,000	会報費	150,000	105,735
利息		161	振替口座用紙代金		3,200
雑収入(寄付)		356,000	振替負担費用		200
記念誌販売		177,150	雑支出		
当年度合計	545,000	853,311	当年度合計	485,000	558,392
前期からの繰越金	79,632	79,632	次年度繰越金	139,632	374,551
総計	624,632	932,943	総計	624,632	932,943

以上の報告に異議はありませんでした。

報告事項 前年度役員の変動に関する報告

会則第7条第4項に基づき、平成20年5月の評議員会で、評議員及び理事の構成を一部変更することを議決しました。新たに加わった評議員及び亡くなられた評議員は下記のとおりであります。()内は卒業期数、任期は21年3月末

*白井 良雄(27)*渡辺 翠(27)*中村 清子(33)*益井 純子(33) 向原 政弘(33)*斎藤 耕一(34) ただし*:理事、#:監事

理事兼評議員田畑ルナ氏(11)は20年5月死去

議案第5号 役員の変更

平成19、20年度の役員は、今年3月31日に任期満了となりましたので、本総会において、新年度役員を選出を行いました。

1. 会則第8条により、はじめに新年度の評議員を選出し、選出された評議員の互選により、新年度の会長・副会長、理事・監事を選出しました。その結果平成21、22年度の役員には以下の方が選出されました。()内は卒業期数

会長 宮川英子 (第13期生)
 名誉会長 現任母校校長 久末節子
 参与 岩下秀男 (第12期生) 岸田義明 (第2期生)
 副会長 大村昭夫 (第17期生) 杉田 浩 (第29期生)

平成20年度監査報告

前期決算書類を慎重に監査した結果いずれも適正且つ妥当なものと認めます。

平成21年4月1日 監事 磯 正格
 重山 まこと
 斎藤 耕一

議案第3号 平成21年度事業計画

懸案の母校の発展支援のテーマは、母校とのコミュニケーションを行う場を作る。そこで同窓会へのニーズを探る。21年度は財政健全化のため、会報を会費・寄付をいただいた方々及び未成人会員にのみ配布するよう方針を変えその分内容の充実を図る。ただし会費未納入の方々へのコミュニケーションの場としてホームページを一層充実させ、会報もPDF化したものをホームページで見れるようにする。

また21年度継続して名簿の精度向上、電子データ化を進める。住所があっても古い住所で連絡がつかない同窓生のデータについては、各クラス会の幹事の方々の協力をいただき整備する。ただし個人情報への漏えいには注意する。そして会員の増強を図る。以上は賛成多数で可決されました。

議案第4号 平成21年度予算案

収入の部			支出の部		
	予算額	決算額		予算額	決算額
会費収入	300,000	294,000	総会費	35,000	34,383
新会員入会金	10,000	0	写真・文具等活動費		
懇親会費	30,000	24,000	文具等消耗品費	50,000	82,846
名簿売上		2,000	活動費	200,000	18,998
利息		161	通信費	250,000	313,030
雑収入(寄付)	350,000	356,000	会報費	110,000	105,735
記念誌販売	15,000	177,150	振替口座用紙代金		3,200
			振替負担費用	20,000	200
当年度合計	705,000	853,311	当年度合計	665,000	558,392
前年度繰越金	374,551	79,632	次年度繰越金	1,344,951	374,551
特別会計繰入金	930,400				
合計	2,009,951	932,943	合計	2,009,951	932,943

以上は賛成多数で可決されました。

理事 大月文江 (第14期生)(会計) 野地勝彰 (第24期生)(会計)
 白井良雄 (第27期生) 渡辺 翠 (第27期生)
 重山まこと (第29期生) 福土木綿子 (第29期生)
 小清水和子 (第32期生)(会計) 宮田維久子 (第32期生)
 神谷良男 (第33期生) 益井純子 (第33期生)
 梶川照矩 (第33期生) 中村清子 (第33期生)
 斎藤耕一 (第34期生) 関根純一 (第35期生)
 上原謙介 (第58期生)
 飯島 博 特別会員理事現任母校副校長

評議員 岸田義明 (第2期生) 岩下秀男 (第12期生)
 吉田 起 (第12期生) 宮川英子 (第13期生)
 大月文江 (第14期生) 磯 正格 (第15期生)
 大村昭夫 (第17期生) 下條由之 (第17期生)
 山縣武夫 (第18期生) 大塚弘章 (第23期生)
 野地勝彰 (第24期生) 白井良雄 (第27期生)
 渡辺 翠 (第27期生) 大竹英一 (第27期生)
 足立達三 (第27期生) 富安好恵 (第27期生)
 岩田玉江 (第27期生) 杉田 浩 (第29期生)
 重山まこと (第29期生) 福土木綿子 (第29期生)
 宮田維久子 (第31期生) 岩本照雄 (第31期生)
 小清水和子 (第32期生) 宮田維久子 (第32期生)
 神谷良男 (第33期生) 梶川照矩 (第33期生)
 中村清子 (第33期生) 益井純子 (第33期生)
 斎藤耕一 (第34期生) 漆畑光一 (第34期生)
 大岡雅子 (第34期生) 関根純一 (第35期生)
 渡辺明雄 (第48期生) 上原謙介 (第58期生)
 磯 正格 (第15期生) 下條由之 (第17期生)
 山縣武夫 (第18期生)

平成23年度は役員改選となります。

平成二十一年東大原小学校 同窓会 記念公演
「経済ってなに？」

—— どうして不況になったの ——

講師 株式会社市場経済研究所 主幹

岡本 匡房 (27回生)

経済とは何ぞ経済済民(けいこくさいみん)

経済学とはどのようなものでしょうか。辞書には次のように書いてあります。

・国を治め人民を救うこと

・財・サービスの生産・分配・消費の行為、並びにそれを通じて形成される人と人との人間関係の総体

これでははつきり分かりませんが、お金に関係するすべてのものといえます。ゲームをつくる会社、それを売る会社、運ぶ会社、買う人(消費者)がみんな関わっており、人々は経済活動がなくては一日も生活できません。

ただ、金儲けにはあまり、役立ちません。もし、



金儲けに役立つなら世界中の人がお金持ちになっ
ているはずで
振り込み詐欺な
どの防止には役
立ちます。
「効率的(こうりつ
てき)な生産をし
て、安くて良いも
のを提供し、人々
を豊かにする方
法を探る学問」と
私は思っています。

ふたつの経済

人々を豊かにするために考えられたのが2つの経済です。それが「社会主義(しゃかいしゆぎ)経済」と「資本主義(しほんしゆぎ)経済」です。

1 社会主義経済—計画(けいかく)経済—国

が工場やデパート、輸送機関などを所有し、自ら生産し、生産量を決める経済。

2 資本主義経済—市場(しじょう)経済—

人々がお金を出して会社を作り、その会社が品物(商品)を作って、輸送し、市場で販売する経済。一番多いのが株式会社で、これは人々がお金を出して株式を購入して会社を作り、会社が利益を上げたならそれをもたらうというものです。

どちらがよい

かつては社会主義経済の方が人を豊かに、平等にすると思われていました。社会主義は国が生産量を決め、価格を決めるので儲ける必要がないからよいものを沢山できると考えられたからです。

ところが、実際は違いました。社会主義経済はみな独裁国家(どくさいこっか)となり、しかも、政府と結びついた一部の特権階級(とっけんかいきゅう)が富を独占しました。上の人がすべてを決めるため、人々がやる気をなくしてしまっただけです。この結果、とても貧しくなり、ソ連・東欧の社会主義国は崩壊(ほうかい)してしまいました。

一方、資本主義経済はみんなが儲ける(もうける)ためにものをつくり売っています。そこで、もうけの分だけ高くなると思われたのですが、もうけるために一生懸命工夫して、安くてよいものをつくるようになりました。この結果、社会主義経済より安いものがつくられるようになりました。また、ゲーム機、パソコン、携帯電話(けいたいでんわ)など新しいものがどんどんできるようになりました。

中国も「社会主義市場経済」といって、資本主義のやり方を取り入れるようになり、この結果、大きく成長しました。いま社会主義経済といえるのは北朝鮮くらいです。それがどんな国か皆さんはよく知っています。

ただ、資本主義経済もよいことばかりではありません。特に問題なのは生産、消費の増減が激しいため、行き過ぎて好況不況になりやすいことです。いま大きな不況になっているのが、そのよい例です。また、貧富(ひんぷ)の差が大きくなりやすい(格差の拡大)ことです。日本でもいま問題になっています。

中国・ソ連もかつては貧しかったものの、貧富の差はあまりありませんでした。ところが、市場経済を取り入れた結果、経済は大発展したのですが、今は貧富の差が日本以上に大きく開き、問題になっています。一方、資本主義経済でも「計画」など社会主義的な考え方を取り入れて、好況、不況を小さくしたり、失業保険(しつぎょうほけん)など社会保障(しゃかいほしょう)を充実させ、貧しい人を救おうとしています。が、なかなかうまくいっていません。

どうして不況になったの

世界はいま大不況になっています。不況とは「消費が生産より少ない」ことから起こります。なぜ、このようなことが起こったのでしょうか

1 米国の過剰消費（かじょうしようひ）

きっかけは米国の消費が落ち込んできたことです。実は米国人は借金（しゃっきん＝ローン）で、収入（＝所得）以上に消費していました。これは株式や住宅価格が上がり、借金の額より資産の方が大きく増えたからです。ところが、住宅価格や株などが下がったため、消費を減らし始めたのです。

なぜ、多額な借金ができたのでしょうか。その理由のひとつがサブプライムローンです。

2 サブプライムローン

サブプライムローンとは米国の信用力の低い個人向け住宅融資（じゅうたくゆうし）のことです。

これは「利息（りそく）が一定の期間を過ぎると高くなる」仕組みのローンで、低所得者でも利用しやすい仕組みになっていました。

二〇〇六年までの10年間で米国では住宅価格が9割ほど上がっていたので、借金して購入しても住宅価格の値上がりで借金以上に資産（しさん）が増えると思いがかりで借りていました。そこで、住宅価格が上がらな

いと、利息が上がる時期には家を手放さな



ければならなくなります。もし、下がったら、借金だけが残ってしまいます。住宅価格が上がると、住宅価格とローンの差額を貸すという仕組みもあり、これが消費に廻され、借金をさらに増やし、問題をさらに深刻にさせました。

3 証券化商品の増加

サブプライムローンだけではありません。サブプライムローンなど各種のローンなどを組み込んでつくった「証券化商品」というものがあり、これが大きく下がって、不況を拡大させました。証券化商品は内容はよく分からないのですが、利回り（りまわり）がよいので、これを世界各国、特に米国や欧州の銀行、証券会社が大量に購入しました。この結果、米国の不況が欧州に飛び火しました。

4 東欧の金融危機（きんゆうきき）

西ヨーロッパの危機は東ヨーロッパ諸国にも広がりました。金融不安に襲われた西ヨーロッパの銀行など金融機関が東ヨーロッパ諸国に貸し出していた資金を引き揚げたため、東欧諸国がパニック状態になりました。

5 日本やアジアにも

米国の消費者が買い控えた結果、日本やアジア諸国から米国への輸出が減り、日本も不況になりました。

6 オーストラリア（豪州）、ブラジル、ロシア、中東も

この結果、世界各国の生産が減り、石油、石炭、鉄鉱石、銅、穀物（こくもつ）などの世界価格が下がり、世界に鉄鉱石、石炭を売っていた豪州、ブラジル、石油を売っていた中東、ロシアなども不況になり、世界中が不況になりました。

不況をなくすための対策

そこで、いま、世界の国々が不況をなくすためにいろいろな対策に乗り出しています。大きくみて、3つの方法が取られています。

1 公共事業（こうきょうじぎょう）

公共事業は鉄やセメントなどものを沢山使うので、そのような事業を国が拡大しています。これは「生産より消費が

少ない(＝需給ギャップが大きい)ので、政府が予算を増やし消費を拡大する」という方法です。

2 金融機関の損失補填

(きんゆうきかんのそんしつぽてん)

金融機関の損失が大きいので、その損失を政府がお金を出して穴埋めし、お金がどんどん貸せるようにする方法です。いま、会社はお金が不足して倒産(とうさん)するところも出ています。これは金融機関もお金がなく貸せないからです。そこで政府や日銀(＝中央銀行)がお金を貸し出したり、貸しやすいうようにして、会社が倒産しないようにしますが、それでも倒産する企業は後を絶ちません。金融機関への政府からの貸出は増える一方で、世界全体では約一〇〇兆円に達しています。日本のGDP(国内総生産)1年間に作り出した生産物)が約五〇〇兆円なので、その5分の1に当たります。

3 減税(げんぜい)

税金を減らして個人の実際の収入が増えるようにし、消費を増やす方法です。

いつ効果が出るの

誰にもわかりませんが来年ころには景気はよくなるとみられています。効果が出る

かが分からない理由は世界の金融機関の損失が分からないことです。

従ってどの程度、政府がお金を出せば消費の不足をおぎなえるかがだれも分からないのです。

そして予算を決めても実際に執行されるまで時間がかかり、しかもそれが生産を増やすようになるにはさらに時間がかかるからです。

そして一番大きな問題は、なにより政府にもお金がないことです。政府の予算は国民からの税金でまかっています。でも足りず、どこも国債(＝国が発行する債券)を発行しています。しかし、これは国の借金なのでむやみに増やすと若い人に借金を残すことになり限度があります。

終わりに

経済学は人々を豊かにして、幸せにすることを目指しているのですが、まだまだ不完全です。その最大の理由は世界で65億人ともいわれる人々が何を買い、何を買わないかがはつきりしないこと、個人的に正しい行動をしても結果的に間違った結果になる(＝合成の誤謬)＝ごびゅう)ことがあるからです。

経済学は一面では人間の心理を読む心理学のような面を持っています。そこで、人間の心理がはつきり分からない限りまだまだ、好況、不況が続くでしょう。



同窓会への連絡、問い合わせ、
寄稿の送付、送金の方法について

同窓会の事務所の所在地は、会則では「東大原小学校」となっております。しかし現状では、学校内で事務を行うことが学校管理上の理由で出来ません。会員各位にはこの点でご不便をお掛けします。

現在の事務局の住所は左記のとおりです。連絡は郵便かFAXでこちらにお願いいたします。

郵便番号155-0031
世田谷区北沢2丁目35の9
小清水ビル5F
東大原小学校同窓会事務局
FAX 0315454-5356

なお東大原小学校同窓会のホームページには誰でもが簡単に書きこめてコミュニケーションがとれる掲示板のページがあります。連絡などに気楽にご利用ください。

同窓会のホームページのご案内

同窓会ではホームページを公開しています。アドレスは次のとおりです。「東大原小学校同窓会」で検索も可能です。

<http://www.higashiohara.jp/>

平成21年1月から4月末までに会費・寄付を頂いた方々(177名)

02 岸田 義明	13 藤平 賀寿子	17 権田 揚子	24 泰 菊枝	26 神田 友直	29 河村 郁子	34 漆畑 光一
04 永易 憲三	13 武田 千恵子	17 笹間 薫	25 渡辺 公子	27 大矢 八郎	29 江川 勇夫	34 斎藤 雅子
06 加藤 清光	13 今永 淑子	18 酒匂 芳郎	26 平山 達	27 楠山 哲四郎	29 重山 まこと	34 大岡 純一
07 篠山 旭昶	13 辻 澄子	18 三岡 達司	26 新居 孝夫	27 高橋 修	29 田矢 美代	35 関根 彰二
10 佐藤 信子	13 土肥 京子	18 土屋 貴幹	26 小見山 博充	27 白井 良雄	29 大竹 賢治	35 伊藤 惠美子
10 三宅 喜代子	14 依田 孝次郎	18 小平 健男	26 竹内 延男	27 佐々木 洋子	29 松岡 一子	35 添田 愛子
11 石井 はる	14 平野 愛子	18 江里口 弘子	26 剣持 雅清	27 沼本 俊雄	30 松本 安弘	35 市川 道子
12 岩下 秀男	15 佐山 實	18 熱田 信子	26 風間 久夫	27 豊田 融	30 浜野 巖	35 須貝 英子
12 吉田 赴	15 今井 兼介	18 大島 千津子	26 堀川 市蔵	27 大竹 英一	30 依田 寿子	35 田村 絹江
12 小松 二郎	15 齊藤 健史	18 保科 宏義	26 杉本 正夫	27 岡本 匡房	30 大村 芙美雄	36 丹羽 喜久子
12 美濃部 昭雄	15 大矢 正雄	18 山縣 武夫	26 鹿島 田茂夫	27 大場 偉久雄	31 末吉 真佐子	36 吉川 雅子
12 平田 健蔵	15 宇木 俊夫	18 小田原 和子	26 武田 敬三	27 若王子 和子	31 重松 忠男	36 山崎 千鶴子
12 遠藤 郁夫	15 山本 和平	18 伊藤 達雄	26 益藤 初美	27 渡辺 翠	31 野村 斉	41 神谷 和夫
12 岡 正雄	15 磯 正格	19 乾 允子	26 益藤 初美	27 町田 恭子	31 田中 清子	48 永渕 賢三
12 白石 正子	15 高見澤 稔	20 田島 照郎	26 谷田 公子	27 星 明子	32 中川 雅治	49 金子 謙介
13 加賀田 光雄	15 小林 茂	20 鎌野 京子	26 森定 洋子	27 植田 和子	32 志賀 幸雄	58 上原 平輝
13 岸 亨	16 篠山 利生	20 山中 利夫	26 岡崎 孝子	27 麻田 治代	32 小清水 和子	64 中川 大竜
13 高見沢 裕	17 飛田 實	21 伊庭 保	26 石川 喜代	27 足立 遼三	32 宮田 維久子	79 小原 大輝
13 澤原 昌	17 大村 昭夫	21 四竈 公子	26 小泉 見予子	27 吉村 善智	33 川島 澄江	80 土田 平遙
13 高岡 生水夫	17 下條 由之	21 志賀 芙規子	26 小泉 真寿子	27 赤尾 英城	33 蔭山 誠一	80 永淵 伸
13 小糸 義男	17 曾我 優	21 小山 加代子	26 岸 久美	27 飯田 充	33 梶川 照矩	
13 吉田 太一	17 岩谷 彦久	21 高橋 みどり	26 平形 千恵子	27 富安 好恵	33 中村 清子	
13 大井 収	17 山本 倫直	22 小林 晟高	26 松本 晶子	27 大島 睦治	33 神谷 良男	
13 村松 樹郎	17 岡崎 正江	22 豊田 宏道	26 赤津 信男	27 寺嶋 美智子	33 益井 純子	
13 三宅 雅彦	17 八木 江里	23 秋間 夫勝	26 上神 谷俊秋	29 杉田 泰之	33 尾形 千鶴	
13 宮川 英子	17 鶴 久子	24 野地 勝彰	26 高木 光子	29 福士 木棉子	34 今泉 伸夫	

編集後記

本年度から会報を年2回発行することに致しました。総会の内容のお知らせが翌年になってしまふのでは時機を失するとの事と、少しでも会員相互の交流の場を広げたいとの思いからです。

従つて一号は総会の報告を主体とした記事となります。

二号は二月頃発行の予定で、次期総会の案内と会員からの寄稿やご意見など、交流の場を広げることを主体とした編集にしたいと考えております。

寄稿は、左記の同窓会方針に触れていなければ学校の思い出はもとより、仕事のこと若し人への提言などなんでも結構です。字数の制限はありませんが、編集の都合上1200字(400字詰め原稿用紙3枚)以下を目安にして頂ければ助かります。また写真など画像が入っていると読みやすくなります。

同期会やクラス会の報告でも結構です。締切は本年12月末です。上記同窓会連絡先へ郵送してください。

本同窓会は政治・宗教・思想について中立を守ります